

常設展示ホールに、新コーナー登場！

北川 博道



新設された「天然記念物コーナー」

世界一の展示！？

昨年3月、当館所蔵のパレオパラドキシアなどの化石を含む「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」が天然記念物に指定されたことを受け、「天然記念物コーナー」が新設されました。この展示コーナーの設置により、天然記念物に指定されたすべての化石を見ることができるようになりました。2体の全身骨格標本を含む6標本ものパレオパラドキシア実物化石が見られるのは、世界中で当館だけでしょう。この世界一のコレクションの迫力を十二分に体験していただくためにこだわりの展示ケースを作製しました。大型のケースに入った般若・大野原両標本は迫力があり、小型の展示ケースに入った標本も1つ1つをじっくり観察する事ができます。

壁面には当時の海の様子をイメージした映

像が流れ、太古の海のイメージを膨らませてくれます。

実はこんなところも・・・

新コーナーの設置の他にも、いくつかの展示が変わっています。「さわれるはく製コーナー」はホール入り口付近に移動。広いスペースで、より剥製を観察したり、記念撮影したりすることがしやすくなりました。「恐竜時代の地層」に展示している化石は全て埼玉県産の化石に代わり、「古秩父湾の時代」の化石も展示を一新しています。展示資料の中には、ボランティアや友の会の会員の方々に提供していただいた標本も少なくありません。

これからも、変わり続ける博物館展示にご期待ください。

(きたがわ ひろみち・学芸員)